

今号のトピックス 第2回定例総会と第1回役員会会議報告

THInetは2017年12月20日に設立しました。規約で2年に1回の定例総会が決められており、2ヶ月ほど遅れましたが、3月上旬にメール定例総会を開催し、規約改正案と役員人事案が全会一致で承認されました。規約改正のポイントと新役員の紹介、その後引き続き開かれた第1回役員会で決定した、活動計画を報告します。

規約改正のポイント

改正の最大のポイントは、走りながら必要に応じて組織体制等を追加してきたため、規約と齟齬しないことが生じていたため、実体に沿うように改正したことです。

団体参加 役員

1. NPO 法人ぐんま子どもセーフネット活動委員会 代表:飯塚秀伯
2. 子どものネットリスク教育研究会 代表:大谷良光
3. 子どもとメディア関東 共同代表:成田弘子
4. ネットいじめパトロール隊(沖縄県) 代表:高宮城修
5. NPO 法人ネットポリス(鹿児島県) 代表 戸高成人
6. NPO 法人ジャパンマック(福岡県) 代表理事 岡田昌之(2020.3加入)

第2期第1回役員会です承された活動計画(10項目)

1. 認定講習会を、中央で毎年最低1回は実施する。さいたま市で1月。他に、地域団体との共催で複数回開催を目指す。
2. 1日研修会を、毎年できるだけ地方で複数回開催する。様々な団体との共催をめざす。1日研修に該当する、教員免許状更新講習会の開催大学をさらに増やす。現在、3大学予定。
3. 燈火のニュース読者を2年間で1000名とする。現在300名。

以下は、Webを参照してください

新役員 紹介

第1期の顧問5名、共同代表3名、副代表5名の皆様は、全員継続して下さいました。また、副代表に、新たに、**田草雄一先生(小児科医・島根県小児科医会子どもとメディア委員会委員長・ぼよぼよクリニック院長)**が選出されました。

田草先生には、教材開発委員会の副委員長も兼任して頂き、編集と医療専門家の立場からの教材の提案、開発委員への支援を行います。

■顧問

内海裕美 (日本小児科医会常任理事・「子どもとメディア委員会」担当理事)

川島隆太 (東北大学加齢医学研究所所長・教授、脳科学者)

清川輝基 (NPO 法人子どもとメディア代表理事)

樋口進 (久里浜医療センター所長、精神科医)

◎筆頭顧問

道永麻里 (日本医師会常任理事・学校保健担当、日本学校保健会副会長)

■共同代表

飯塚秀伯 (NPO 法人ぐんま子どもセーフネット活動委員会・代表)

大谷良光 (子どものネットリスク教育研究会代表、青森大学客員教授)

田澤雄作 (仙台医療センター・元部長、東北大学大学院医学研究科元臨床教授、日本小児科学会「学校保健心の問題委員会」元副委員長)

■副代表

◎筆頭副代表 **伊藤賢一** (群馬大学社会情報学部・教授・社会学ネット依存研究者)

瀧澤利行 (茨城大学教育学部・教授、日本学校保健会評議員)

田草雄一 (小児科医・医学博士、島根県小児科医会子どもとメディア委員会委員長)

中島匡博 (日本小児科医会「子どもとメディア委員会」委員長)

成田弘子 (白梅学園大学前特任教授、子どもとメディア関東代表)

山田真理子(子どもと保育研究所ぶろほ所長、九州大谷短期大学名誉教授)

三役以外の役員会メンバー(第1回役員会決定)

■内容教材開発委員会

委員長 大谷良光

総監修鑑 田澤雄作、中島匡博、山田真理子

副委員長 (講習内容の分各野チーフを兼ねる)

伊藤賢一 成田弘子、**田草雄一**

本間史祥(青森市立中学校教諭)

古野陽一(NPO 法人子どもメディア常務理事)

ウードー美 (子どものネットリスク教育研究会主幹研究員)

開発分野チーフ

内山陽子 (青森県立学校養護教諭)

原口 剛 (子どものネットリスク教育研究会主幹研究員)

矢野さと子(子どもとメディア関東事務局)

伊藤理恵 (資料室チーフ兼任)

■事務局長 成田弘子 事務局次長 **伊藤理恵**

■企画室(開発委員会と事務局連携) 13名

共同代表3名、筆頭副代表、事務局長、事務局次長、**開発委員会副委員長**、開発分野チーフで構成。